



## 喜多の塾

## 大坂二十二社

夏といえはお出掛けのシーズン。みなさまも様々なお出掛けを計画されておられる事と思います。しかし現代でこそ、日帰りで海外に行く事も可能になりましたが、江戸時代では、日帰りのお出掛けといえは現在の市内周辺を廻る程度が殆どでした。そんなお出掛けのスポットとして社寺めぐりが当時大いに流行ったようで、江戸中期以降、朝廷の二十二社制度にならい、市内の**主要神社**を二十二社選定した「**大坂二十二社詣**」というものが流行しました。書物によって神社の選定はまちまちですが、ここでは『**大坂寺社巡拝記**』に記された二十二社をご紹介します。当神社も**第七番目**に記されておりです。散歩がてらにこの夏廻って先人の信仰に思いを馳せてみるのも良いかもしれません。

( ) 内は現在の神社名と区名です

- 一、逆櫓社（朝日神明社・此花区 無人社）
- 二、稻荷社（玉造稻荷神社・中央区）
- 三、用明天皇（鵜森宮・中央区）
- 四、神明社（日中神明・大正区 無人社）
- 五、天満宮（大阪天満宮・北区）
- 六、蛭子神社（堀川戎神社・北区）
- 七、天神社（網敷天神社（当神社）・北区）
- 八、神明社（夕日神明社・北区 無人社）
- 九、天神社（露天神社・北区）
- 一〇、御霊社（御霊神社・中央区）
- 一一、座摩社（坐摩神社・中央区）
- 一二、仁徳天皇（難波神社・中央区）
- 一三、三津八幡（御津宮・中央区）
- 一四、祇園社（難波八阪神社・浪速区）
- 一五、廣田神社（廣田神社・浪速区）
- 一六、恵比須社（今宮戎神社・浪速区）
- 一七、安居天神（安居神社・天王寺区）
- 一八、崇峻天皇（堀越神社・天王寺区）
- 一九、十五社（四天王寺内・現在は廃絶）
- 二〇、北向八幡社（生國魂神社境内社）
- 二一、生玉神社（生國魂神社・天王寺区）
- 二二、高津社（高津宮・中央区）

## 戦前のゆりわの写真見つかる

当神社にはゆりわという名の独特の形をした器が伝わっております。伝承によれば、京都より左遷された菅原道真公を当地において歓待致す為に、地元の者がゆりわに団子を盛つてもてなしたと伝えられ、以降、平安時代より今に至るまで、この故実に倣い、ゆりわに盛った団子を、秋祭には必ず御神前に供して参りました。しかし、六十余年前の戦火で、ゆりわは焼けてしまい、戦後、先達の記憶を頼りにゆりわを復元しましたが、その形が本当に昔のものと同じものであったのかという確証を得る機会は永遠に失われてしまったと無念の思いでありました。ところが、今年六月末に、当神社の崇敬者の方のご自宅から戦前に撮影された、今とまったく同じ形のゆりわの写真とそれを掲載した新聞記事が発見されました。

この記事の発見は、当神社の伝統に確証を与えたばかりでなく、先人の信仰に対する至誠をも今に伝える資料として大変貴重なものとなりました。宮司以下職員一同、この記事をご提供を頂きました事、この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、この社報をご覧の方の中で、**もしも当神社に関する資料類**をお持ちの方ございましたら、**ご一報頂ければ**幸いです。存じ上げる次第です。

## 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、  
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀知

